

中山間地域の道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施箇所

- (短期の実証実験)
○ H29~30年度 : 18箇所
(※長期、社会実装箇所を含む)
- (長期の実証実験)
● H30年度~ : 8箇所
(※社会実装箇所を含む)
- (社会実装)
○ R元年度~ : 3箇所

【社会実装】R1. 11/30~
秋田県北秋田郡上小阿仁村
(道の駅 かみこあに)

【長期の実証実験】
実施期間: H30.12/9~H31.2/8
使用車両: ヤマハ

北海道広尾郡大樹町
(道の駅 コスモール大樹)

【長期の実証実験】
実施期間: R1.5/21~R1.6/21
使用車両: 先進モビリティ

山形県東置賜郡高畠町
(道の駅 たかはた)

新潟県長岡市
(やまこし復興交流館おらたる)

富山県南砺市
(道の駅 たいら)

岐阜県郡上市
(道の駅 明宝)

栃木県栃木市西方町
(道の駅 にしかた)

茨城県常陸太田市
(道の駅 ひたちおおた 及び 高倉交流センター)

【長期の実証実験】
実施期間: R1.6/23~R1.7/21
使用車両: ヤマハ

岡山県新見市
(道の駅 鯉が窪)

島根県飯石郡飯南町
(道の駅 赤来高原)

【長期の実証実験】
実施期間: R2.9/1~10/10
使用車両: ヤマハ

山口県宇部市
(楠こもれびの郷)

長野県伊那市
(道の駅 南アルプスむら長谷)

【長期の実証実験】
実施期間: H30.11/5~11/29
使用車両: 先進モビリティ

愛知県豊田市
(道の駅 どんぐりの里いなぶ)

【社会実装】R3. 4/23~

滋賀県東近江市蓼畑町
(道の駅 奥永源寺 溪流の里)

【長期の実証実験】
実施期間: R1.11/15~12/20
使用車両: ヤマハ

【社会実装】R3. 7/19~
福岡県みやま市
(みやま市役所 山川支所)

【長期の実証実験】
実施期間: H30.11/2~12/21
使用車両: ヤマハ

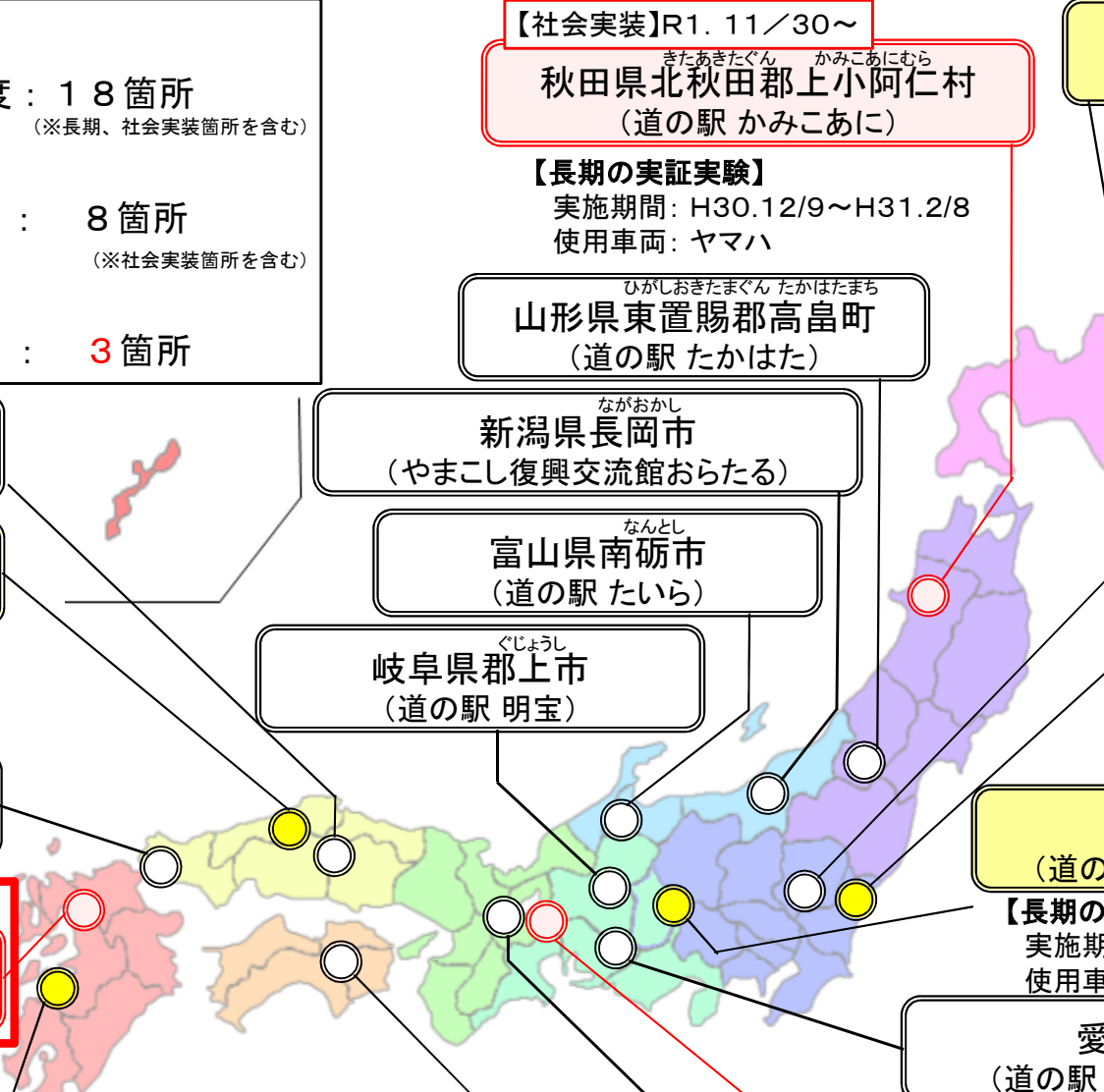
熊本県葦北郡芦北町
(道の駅 芦北でこぼん)

【長期の実証実験】
実施期間: H31.1/27~3/15
使用車両: ヤマハ

徳島県三好市
(道の駅 にしいや・かずら橋夢舞台)

滋賀県大津市
(道の駅 妹子の郷)

今回

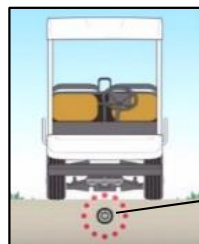


■自動運転車両

<使用車両>



<自動運転の仕組み>



電磁誘導線

電磁誘導線を敷設
車両を誘導

- 開発: ヤマハ発動機株式会社
- 定員: 最大6人(乗客は4名)
- 速度: 12km/h 程度(自動走行時)
- 運転手: 地元のタクシー会社が対応

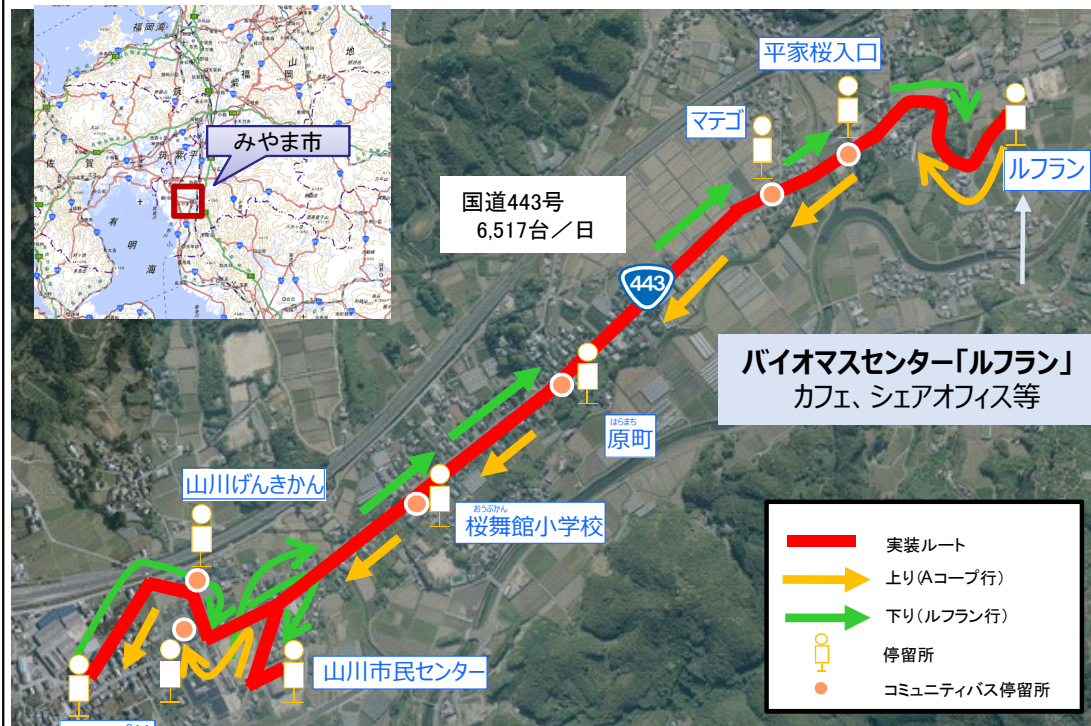
走行中は乗車するがハンドル等は操作せず運行を監視

■運営体制

運営主体	みやま市
サービス	バイオマスセンター「ルフラン」、山川市民センター、地元商店(Aコープ山川店)等への送迎 キャッシュレスサービスとの連携
運賃	100円/回(小学生、65歳以上は50円/回)
運行ルート	バイオマスセンター「ルフラン」～山川市民センター～地元商店(Aコープ山川店) ※全長(往復)約7.2km
運行スケジュール	運行日 : 月曜日～金曜日 (土日、年末年始、GW、お盆は運休) 運行便 : 5便/日(8:30～17:00)

■走行ルート

○ 地域住民の生活拠点・買物拠点となる山川支所近郊とみやま市が拠点化を進めるバイオマスセンター「ルフラン」を結ぶルートとし、コミュニティバスの便数が少ない区間の地域交通手段を確保。



- バイオマスセンター「ルフラン」を拠点とした全長(往復)約7.2kmのルート
- ルート上には看板や路車協調表示システムを設置し、地域の協力を得て、自動運転車両が円滑に走行可能となるように周知

令和3年7月19日(月) 自動運転サービス開始